

平和市長会議加盟自治体の皆様

平素より平和市長会議の活動にご支援・ご協力頂き、心より感謝申し上げます。
平和市長会議の近況をお知らせします。

=====

◆米国の核実験に対し抗議

=====

米国が昨年12月と今年2月の2回、臨界前核実験を実施したこと、さらに、その事実を何ヶ月も後に発表したことに対し、世界151か国・地域4,803都市の市長で構成する平和市長会議として、役員都市市長の連名による抗議文を本国及び駐日アメリカ合衆国大使館に送付し抗議しました。

▼抗議文（日・英）

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2011/110720_protest\(jp-en\).pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2011/110720_protest(jp-en).pdf)

=====

◆全米市長会議が平和市長会議の活動に賛同する決議を採択

=====

6月17日から21日にかけてメリーランド州バルティモアで開催された全米市長会議第79回年次総会において、米国の加盟自治体の市長たちが提出した、平和市長会議の活動に賛同する内容の「米国大統領に対し、他の核兵器保有国の指導者たちと共に、2020年までの核兵器廃絶へ向け行動することを要請するとともに、連邦議会に対し、核兵器開発に係る費用の削減と削減した資金を自治体の要求する事業へ転換するよう要請する決議」が採択されました。また、国連事務総長も同総会で平和市長会議の活動を支持する発言をしました。

▼決議全文和訳

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2011/110712_zenbei_shichokaigi/index.html

=====

◆松井広島市長（平和市長会議会長）が所信表明

=====

松井広島市長(平和市長会議会長)は、平成23年(2011年)第3回広島市議会定例会において「平和への思いを共有するまち」への取組など市政推進に当たっての基本的な考え方や主要な施策について所信を述べました。また、議会答弁の中で、平和市長会議への考え方を示しました。

▼詳細記事

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2011/110630_syoshinhyoumei/index.html

=====

◆8月6日を記念する各地の取組(ベルギー、アルゼンチン)

=====

イーペル市からの情報によると、ベルギーのアールスト、アントワープ、バスターニュ、ブリュッセル、ヘント、ルーヴァン、メチェレン、モンス、イーペルの9都市と平和団体が連携して、8月6日に広島・長崎の被爆追悼行事を開催する予定です。

また、アルゼンチン自治体連盟(FAM)は、世界の注目が広島に集まる8月6日に向けて、FAMに加盟している全自治体に対し、平和市長会議への加盟を呼びかけました。

▼詳細記事(2020ビジョンキャンペーンのウェブサイト。英語のみ。)

[ベルギー]

<http://www.2020visioncampaign.org/en/home/artikel/6cd7e0f0cc/hiroshima-nagasaki-commemorations-p.html>

[アルゼンチン]

<http://www.2020visioncampaign.org/en/home/artikel/2a922feb26/fam-calls-mayors-across-latin-america.html>

=====

◆被爆者の証言に熱心に聞き入る[ブラジル・パラナグア市発 7月4日]

=====

7月4日、ブラジル・パラナグア市の市制363周年記念式典に、平和市長会議と在ブラジル原爆被爆者協会の代表

が参列しました。式典では、原爆展の開会セレモニーや平和市長会議への加盟を記念した特別行事も開催されたほか、在ブラジル原爆被爆者協会代表による証言や、「ヒロシマ・母たちの祈り」も上映されました。証言やビデオ視聴の際は、涙を流す参加者もみられ、核兵器がいかに非人道的な兵器であるかについての理解が深まりました。

▼詳細記事(2020 ビジョンキャンペーンのウェブサイト。英語のみ。)

<http://www.2020visioncampaign.org/en/home/artikel/2055284b8a/hiroshima-moves-paranagua-to-tears.html>.

=====

◆平和市長会議加盟自治体数（新たに 71 自治体が加盟。国内加盟自治体数が 1,000 を突破）

=====

皆様のご理解とご協力により、平和市長会議の加盟自治体数は増加を続けており、7月1日現在で4,803自治体(151か国・地域)に達しました。このうち、国内では42自治体が新たに加盟して合計1,017になりました。サウジアラビアから首都のリヤドが初加盟したほか、核実験に苦しんだマーシャル諸島のビキニ環礁が加盟し、また、ブラジル・パラナグア市長の要請により、ブラジルから新たに6都市が加盟しました。引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働きかけなど皆様のご支援をよろしくお願ひします。

▼7月新規加盟自治体一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2011/newmembers1107_jp.pdf.

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>.

=====

◆加盟都市の活動紹介コーナーに貴自治体の平和に関する取組の情報をお寄せください

=====

平和市長会議のホームページでは、加盟自治体の平和活動を紹介するコーナーを設けています。最近では、オックスフォード市(英国。英語のみ)から、7月8日に同市で開催された平和市長会議と非核宣言自治体協議会英国フォーラムの合同セミナーに関する情報提供がありました。同セミナーでは、加盟促進のための共同署名書簡や広島・長崎原爆展の英国巡回展について協議されました。この夏に平和関連の取組を予定されている自治体の皆様、貴自治体での平和活動や行事等の情報をぜひお知らせください。基本的には各自自治体のホームページにリンクする形でご紹介します。

▼活動紹介コーナー

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/activities/index.html>.

▼掲載を希望される場合は、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにEメールにてお知らせください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp.

=====

◆CANT(都市を攻撃目標にするな)プロジェクト市民署名

=====

2007年2月から市民主体の運動として推進しているCANT(都市を攻撃目標にするな)プロジェクト市民署名は、皆様からの多大なご支援により、これまでに約111万筆の署名をいただきました。現在、平和市長会議では、2020年までの核兵器廃絶という期限を明記し、核兵器禁止条約の締結に向けた交渉開始を求めるCANT市民署名活動を展開しています。改めてご協力をお願いします。

▼署名用紙(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/petitionform_jp.pdf.

▼オンライン署名

<https://www.ssl-hiroins.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>.

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和市長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp